

第4回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり検討委員会会議録

■開催日時・場所・出席者

日 時:平成 28 年 11 月9日(水)午後1時 30 分から3時 30 分まで

場 所:鴨川市役所4階大会議室

出席者:以下のとおり

【出席委員】

No.	氏 名	備 考
1	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
2	福田 雄一郎	鴨川市商工会 青年部長
3	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
4	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
5	斉藤 哲二	鴨川シーワールド 副総支配人
6	菅原 明善	(一社)鴨川市青年会議所 鴨川の未来育成委員会委員長
7	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部 会長
8	川井 幹雄	鴨川サーフィングクラブ 会長
9	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
10	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 学部長
11	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
12	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
13	橋詰 良子	地域おこし協力隊

【欠席委員】

No.	氏 名	備 考
1	鈴木 健史	(一社)鴨川市観光協会 会長
2	藤巻 武仁	(一社)鴨川市観光協会 副会長
3	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
4	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
5	吉田 良治	安房土木事務所 所長

【市行政関係者】

所 属 ・ 職	氏 名	備 考
鴨川市長	長谷川 孝夫	
鴨川市参事	岩田 知也	事務局
鴨川市観光課長	松井 寛徳	事務局
鴨川市観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市観光課観光係長	廣部 保幸	事務局
鴨川市企画政策課課長補佐	大久保 孝雄	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市スポーツ振興課長補佐	鈴木 圭一郎	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市環境課美しい鴨川推進係長	佐々木 正信	海辺のまちづくりプロジェクトチーム

【鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画策定支援業務委託事業者】

有限責任監査法人トーマツ

富田慎二、松矢明宏、柳橋雅彦 計 3 名

■配布資料

- ・次第
- ・席次表
- ・グループディスカッション名簿
- ・資料 1 本日のアジェンダ・検討資料
- ・資料 2 業務スケジュール

■会議要旨

1. 開会（午後 1 時 30 分）

2. 委員長あいさつ

議長から、本日の会議の議事録署名人として、福田委員及び徳山委員が指名された。

3. 市長あいさつ

皆さんこんにちは、大変お忙しい中、前原横渚海岸周辺の魅力づくり、私は海辺のまちづくりと呼んでいるが、こうした会議にご参加いただきありがたい。

ご案内のとおり、皆様のご意見等を頂戴しながら、このプロジェクトを委託する事業者が決まったところ。本市においては学園のまちづくりに次ぐ、最大のプロジェクトと位置づけており、今後の鴨川をうらなうものになると考えている。10 年先、20 年先を見据えたなかで、魅力あるまちづくりを目指していきたい。

この後、コンセプト等々話があるようだが、鴨川の持っている魅力・南房総が持っている魅力、すなわち東京に程よい近さであること、海があり山があり中山間地域があり、そしてそれに伴うすばらしい食材等が用意されていること、観光・スポーツ施設等々色々あるわけだが、そうしたものをしっかりと売りにできるようなまちづくりが必要。そのためには、地元とのしっかりとした結びつきが欠かせない。特に地域との結びつきを大切にするまちづくりであってほしいと考えている。

皆様方のご意見を頂戴しながら、期間は短いわけではあるが、それだけ密度の濃い内容の会議が開かれるだろうと期待しているので、よろしく申し上げ、挨拶に代えさせていただく。

4. 議事

(1) 受託事業者の紹介

受託事業者より当該プロジェクトに関与するメンバーの紹介がなされた。

(2) 業務概要の説明

受託事業者より資料 1 に即して説明。資料のとおり確認された。

委員からの意見は特になし。

(3) シンポジウム実施の方向性について

受託事業者より資料 1 に即して説明。資料のとおり実施手法や講師、タイムスケジュールについて確認された。

委員・事務局から出た意見は次のとおり

- 岩田参事：一点補足をさせていただきたい。シンポジウムについてだが、委員の皆様にも積極的にご参加頂きたいと考えている。

(4) 学生向けシンポジウムの開催について

受託事業者より資料 1 に即して説明。資料のとおり実施手法やタイムスケジュールについて確認された。

委員からの意見は特になし。

(5) 先行事例調査について

受託事業者より資料 1 に即して説明。資料のとおり、基本的に青島、常滑、江東区の事例を調査する旨について確認された。

委員からの意見は特になし。

(6) 協議したい事項「拠点事業のコンセプト」について

資料 1 に即して海岸活性化の拠点におけるコンセプト案「良質な日常の提供」についてグループディスカッション

ンを実施。

委員・事務局から出た意見は次のとおり

- A-1 班（前原横渚海岸に来てほしい日本人リピーター客について協議）

ターゲットの具体的イメージとしては、神奈川在住、20 後半～30 代で病院勤務、過去にサーフィンで鴨川に訪問したことのある女性を想定した。

この設定をした理由としては、若い女性が来られるような環境であれば、他のターゲットにも広く訴求できるのではないかと考えたためである。はじめ、班内で個々人の考えを合わせた際は、想定していたターゲットは、全く異なっていた。グループで協議をした結果、「女性がくる海岸づくり」により、多様なターゲットのニーズを包含できるのではないかと考えるに至った。

- A-2 班（前原横渚海岸に来てほしい日本人リピーター客について協議）

ターゲットとして、どんな方に来てほしいかという話だが、中高年夫婦と大人女子という二つの想定が出てきた。そこに子どもを入れるかどうか大きな論点となった。そのターゲット設定により、今後の構想が大きく変わってくるのではないかと考えている。

子どもをターゲットに含まないほうがよいと考える理由は、高齢者夫婦二人きりの方が、時間もお金もゆとりつかつことができ、長期滞在につながると考えたためである。

逆に子どもをターゲットに含めるべきだと考える理由は、子どもが喜ぶと親はそれにしがって行きたがり、リピートにつながるのではと考えたためである。

地域としては東京周辺在住で、車で来られるのではないかと話していた。

- B 班（前原横渚海岸に来てほしい外国人リピーター客について協議）

外国人については欧米出身で、長期滞在者をターゲットにしたいと考えている。欧米の方が来るようになると、それを追うようにアジアの方も来るのではないかと考えている。年代はアクティブな40 - 50代、家族連れ、リタイアした人たちで、「のんびり」「食事」「健康」に価値を見出す方に来ていただきたい。

世界で有名リゾートとして、ハワイとイビサ（大規模なクラブ、パーティで有名なスペインのリゾート）が挙げられる。我々としては、イビサを目指したいわけではない。ハワイを目指したいが、そこまで守備範囲を広げることも難しいものとする。

その視点で言うと、米国のモンレーやサンディエゴが、水族館を強みにしている事例があり、鴨川の目指す姿となじみがあるのではないかと考えている。

ターゲットの方に訴求するコンセプトの要素は「普段ではできない体験（漁師体験・伊勢えびを掴むなど）」があるのではないだろうか。また「安全・安心」は欠かせない。「良質なサービス」「利便性」「食事」「温泉」「散歩やサイクリング、運動施設」こういったものが要素として出てきた。

- C 班（前原横渚海岸に来てほしい地域に住む方々について協議）

我々のグループでは、地域に住む人について具体的に考えた。究極的にはすべての人に来てもらいたいという思いがあるが、その中でもファミリー層をターゲットとして考えている。もちろん、核家族に限るのではなく、お孫さんを連れのお年寄りや30代～40代の子育て世代、若い世代のカップル等あらゆる人が日常の中で立ち寄れるような場所になっていくとよい。

良質な日常というところでは、安心安全で、子どもたちでも家族でもふらっとよってみたいくなる場所であることが大事ではないかと話をした。

その中で、日常のことを少し忘れることができるような要素があるとより遊びに行きたくなると思う。たとえば、

近くに商店があったり、雑貨があったり、何か楽しめるものがあるとよい。そうすると、子どもたちがふらっと遊びに行くことやグループ活動の拠点になることも考えられる。

これらのことから、小学生の子どもを持っている親がターゲットになるのではという考えもでた。

また、そのほかの重要な要素として、歩いてそこでゆっくりと時間を費やすことができるということも大切だという意見が出た。

- 事務局より

今後、いただいた意見をもとに、コンセプトとターゲットの精緻化を進めていく。

(7) 次回打合せの確認

次回検討委員会は1月9日または16日の週で日程調整をさせていただき、ご報告させていただきたい。

事務局の会議は今後随時行っていくが、その結果については各委員の皆様にも共有していく。

シンポジウムが12月17日に予定されている。ぜひご参加をお願いしたい。また、周知や勧誘といった点でお力添えいただきたいとも考えている。なお、当該シンポジウムについては11月15日号の広報に概要を、12月1日号の広報に詳細を掲載する予定である。

5. 閉会（午後3時30分）

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成28年11月30日

福 田 雄一郎

徳 山 英 樹